２０１９年度　第８号
発行日:2019. 11. 29
編　集:募集広報課

沼津中央高等学校 Student News

Step For 100th Anniversary 100周年に向けて

人を応援し、人から応援してもらえる人に
才能、発見！才能を社会に活かす志を育む

【速報】進路決定状況！ 笹森さん 東北芸術工科大学に合格 安江さん パーパス株式会社に内定

3年生の進路決定状況をお知らせいたします。主な進路決定先は下記の通りです。

【進学】日本大学、国士舘大学、拓殖大学、相模女子大学、昭和音楽大学、常葉大学短期大学、静岡医療センター附属静岡看護学校、静岡県立看護専門学校、静岡県立沼津技術専門校

【就職】ジヤトコ株式会社、矢崎部品株式会社、伊豆箱根企業株式会社、近物レックス株式会社、カインズ株式会社、日本郵便株式会社、明電ファシリティサービス株式会社、東海交通機械株式会社、しずてつジャストライン株式会社、フジパン株式会社

パーパス株式会社に内定した医療･福祉コースの安江陽菜さん（富士宮第一中出身）は、「とにかく就職試験に向けての対策を頑張りました。内定が決まったときは本当に嬉しかった」と喜びを表現してくれました。

国語科 × アドバンスコース「文豪 井上靖の足跡たどる」

アドバンスコースの2、3年生が国語の授業で井上靖の作品に触れました。静岡県東部に縁のある井上靖とその文学作品について学習し、作者の生き方やものの見方について理解を深めました。また、本に関わる仕事について理解を深め、視野を広げました。読書をすることによって「人生を豊かにする」ことを感じとってくれたのではないでしょうか。この日は長泉町にある井上靖文学館の学芸員を講師に招いた特別授業が行われ、井上靖の生い立ちや県東部地域とのつながりが紹介されました。井上靖と血縁関係にある小泉千嘉さん（3年･天城中出身）は「地域に根付いていたことを知り、偉大さを再確認した」と話してくれました。今回の授業は本学園の前理事長が井上靖と同級生だった縁で実現しました。なお、この様子は静岡新聞（10月25日付）、沼津朝日新聞（10月30日付）に掲載されました。

徳山さん（右）の小説の冒頭を目を閉じながら聞き、作品の世界観をイメージする生徒ら＝沼津市の沼津中央高

沼津中央高で特別授業

学芸員が講師 作品の舞台イメージ

文豪 井上靖の足跡たどる

沼津市の沼津中央高は23日、井上靖文学館（長泉町）の学芸員を講師に招いた特別授業を同校で行った。選択コースの2、3年生37人が、地元にゆかりの深い文豪の足跡をたどった。

学芸員の徳山加陽さん（24）は、井上の生い立ちや県東部地域とのつながりについて紹介。生徒は旧制沼津中（現沼津東高）時代の卒業アルバムの写真や、小説「しろばんば」などを通じて井上の人柄や作品の舞台に思いをはせた。

生徒は市内の千本浜について書かれた「節も削ぎ」が、徳山さんは「沼津は井上が青春時代を過ごし、文学に目覚めるきっかけとなった重要な場所」と強調した。

井上と血縁関係があるという3年の小泉千嘉さん（18）は「沼津市は一地域に根付いていたことを深く知り、偉大さを再確認した」と話した。

授業は、同校を運営する沼津精華学園の前理事長が井上と同級生だった縁で実現した。（東部総局・古賀玲奈）

静岡新聞掲載記事

医療･福祉コース「VRで認知症を疑似体験」

医療･福祉コースの1年生がVRを用いて認知症を疑似体験しました。VRで認知症を疑似体験することで「認知症のある人たちが普段どんなことで生きづらさを感じているか」「認知症側の視点に立って体験することで視点が変わる」ことを目的とした授業が行われました。授業ではグループディスカッションを交えるなど、認知症への理解を深めました。古谷琴音さん（沼津第三中出身）は「認知症の人が見ている世界は私たちと全然違っていて、理解するのが難しいと感じました」「この体験をこれからの学習にいかしていきたいです」と話してくれました。

軽音楽部「HALLOWEEN LIVE」

軽音楽部が10月31日（木）に「HALLOWEEN LIVE」を行いました。LIVE会場の記念館2階大教室には多くの生徒が集まりました。仮装した出演者らがハロウィンソングやロックを演奏し、会場を盛り上げました。

沼津中央高等学校 学校公式アカウント
生徒たちの活躍の様子をお伝えします

各部活動のTwitter、Facebookの公式アカウントはこちら ▶